

HEART NEWS

2015年5月1日発行

Vol. 13

大阪市立総合医療センター循環器センター



新しい年度に入り最初のハートニュースの発行となりました。

循環器内科スタッフの小松龍士先生、中川英一郎先生が3月末で異動され、今年度は大阪市立大学から松村嘉起先生、守口生野記念病院から松本亮先生がスタッフとして来られ張り切っておられます。また心臓血管外科には、瀬尾浩之先生がJCHO大阪病院(旧大阪厚生年金病院)からスタッフとして新たに加わりました。

循環器内科、心臓血管外科とも若手のレジデントも加わり、これまで以上に活気のある循環器センターとなりますので、今後ともご支援よろしくお願ひします。



大阪市立総合医療センター 循環器センター部長

循環器内科部長 成子 隆彦

循環器内科のご紹介

循環器内科は、循環器センター直通電話（ハートライン）、循環器センター広報誌（ハートニュース）を通じ地域医療機関との連携に努めておりますが、今年度は以下の分野に取り組みたいと思います。

- 1) 大動脈弁狭窄症のカテーテル治療：高齢化に伴い大動脈弁狭窄症は急激に増加しています。当院では、昨年完成したハイブリッド手術室での経カテーテル大動脈弁大動脈弁植込術 (TAVI/TAVR; Transcatheter Aortic Valve Implantation/Replacement) 導入に向けて現在申請中です。
- 2) 末梢動脈疾患の包括的治療：末梢動脈疾患、特に重症下肢虚血は糖尿病や透析患者に多く、今後疾患の増加が予想されます。当院の総合病院としての機能を生かし内分泌内科、腎臓・高血圧内科、皮膚科、形成外科、整形外科と連携して治療に努めてまいります。
- 3) 心不全チーム医療：近年入院が増加している心不全の治療について、院内の看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士を始め、地域医療機関、在宅医療に関わる看護師、ケアマネージャーを含めた「心不全チーム」を作り、地域完結型の医療をこれまで以上に積極的に行って行きたいと思っております。



副部長
阿部 幸雄



医長
松村 嘉起



医長
松本 亮



医長
占野 賢司



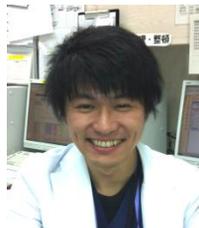
医長
柚木 佳



レジデント
吉山 智貴



レジデント
松尾 真典



レジデント
松下 司



レジデント
加川 俊介



レジデント
赤松 加奈子

循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	占野	柚木	成子
午後	阿部	松村	吉山	柚木	成子
	占野(ペースメーカー)		松本(2,4,5週)		

※4月から占野先生がペースメーカー外来、松村先生が火曜日外来、吉山先生が水曜午後外来、松本先生が2,4,5週の水曜日午後外来を担当します。

地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子			成子	阿部
午後			占野(不整脈)		

心臓血管外科のご紹介

心臓血管外科は循環器センターとして、循環器内科医と協力し、24時間対応可能な診療体制をとっております。急性大動脈解離や胸部・腹部大動脈瘤破裂に対する人工血管置換術、急性冠症候群に対する冠動脈バイパス術、急性動脈閉塞に対する血栓除去術等の救急手術が必要な患者さんがおられましたら、循環器センター直通電話（ハートライン）へ連絡をお願いいたします。さらに今年度は以下の項目にも取り組んでいきたいと思っております。



部長 佐々木 康之

- 1) MICS（低侵襲心臓手術）手術の充実：現在まで僧帽弁手術と心房中隔欠損に対する手術を中心に右小開胸によるMICS手術をおこなってきましたが、今年度は大動脈弁手術（大動脈弁狭窄症、閉鎖不全症）と冠動脈バイパス術（主に、内胸動脈と前下行枝のバイパス）にもMICS手術を導入し、低侵襲手術のさらなる普及を目指していききたいと思います。
- 2) スtentグラフト治療の充実：昨年4月よりハイブリッド手術室の運用が始まっています。今年度はさらに胸部・腹部大動脈瘤に対するstentグラフト内挿術の症例数の増加を目指しております。また、開胸・開腹による人工血管置換術では救命率の低い大動脈瘤破裂に対しても、より高い救命率が得られる可能性がある緊急stentグラフト内挿術を積極的に施行していききたいと思います。



医長
尾藤 康行



医長
高橋 洋介



医長
瀬尾 浩之



レジデント
宮部 誠



レジデント
因野 剛紀



レジデント
新田目 淳孝

心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	瀬尾	佐々木	高橋	佐々木	尾藤
午後	瀬尾	佐々木	高橋(1,3週)	佐々木	尾藤

診察予約(地域医療連携室)

TEL:06-6929-3643 FAX:06-6929-0886

平日 8:45~17:00

今号の循環器日記

3月26日～28日に北九州市小倉で開催された日本心エコー図学会学術集会（写真①）に、阿部医師と古川医師が参加し、心房細動に伴う僧帽弁逆流に関する発表などを行ってきました。背景の銀河鉄道999の絵は、北九州市出身の松本零士先生の許可をいただいて使ったものだそうです。小倉駅前にはキャプテンハーロックの銅像がありました。

4月24日～26日に開催された日本循環器学会学術集会（写真②）には、開催地が大阪であったこともあり、冠疾患または大動脈弁狭窄症における生化学マーカーに関する発表を行った吉山医師（写真③）や松下医師をはじめ大勢が参加いたしました。

大阪市立総合医療センター循環器センターでは、臨床に教育、そして研究を加えたこれら3つがバランス良く揃うことを目標とし、学会活動にも力を入れております。そして、研究の結果や学会で学んだことを実診療に最大限に活かすようにしたいと考えております。

今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



写真①



写真②



写真③

当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けられるようにするため、循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

**ハートライン（循環器センター直通電話）
06-7662-7979**

その他の場合は御面倒ですが、06-6929-1221（代表）から呼び出して下さい。